

海・山・川の環境改善と維持にかかる要望

<久慈川河口域清掃に至った概念>

元々久慈湾にはホッキ貝など貝類や魚、海草類が多く地域産業の糧であった。これが少なくなったのは湾内の汚れが顕著になってからである。

...湾港防波堤建設が進めば...

内湾が穏やかになり、波力による被害が少なく、海藻などの増殖が容易になる。二年コンブ増殖はウニ・アワビの増殖を周年化できるが、防波堤による湾の半閉鎖は湾内の汚れが危惧される。現在久慈湾内で研究が進められているブロックコンブ増殖の継続には内湾の浄化が必要条件である。

...大きな産業界への効果...

コンブ増殖拡大は食品産業の発展を大きく支え、観光や二次三次産業を助長し、湾港防波堤建設延長工事を早める可能性も大きくなる。そのコンブの生産可能量は年五百トン～八百トン以上が見込まれ（共生環境塾推計）、海のダイヤ、ウニ・アワビの尽きない生産脈を作ったと同じである。

...海域や河川浄化の必要性...

心ない者の絶えないゴミ投棄は年々善意を陰らせ、社会の相互信頼性を失い、矛盾を深め、協調や発展性を阻害する。

現在河川から海へのゴミ流入状況は危機的である。河川に見えるゴミの何倍が海に流れ、湾の汚染を進行させていると考えられる。それは拾えないゴミ、有害洗剤や産業用汚染物質流入も危惧される。

これらを防ぐには次のような方策が求められる。上下水道建設の必要性は勿論だが...

- ・地域のゴミ収集場所を利用しやすくする。
- ・広域ゴミ処理場の休日ゴミ搬入日を一ヶ月一度にし（現在奇数月、第四日曜午前のみ）資源ゴミは無料化する。

家庭や学校、商店や事業主に対し各自治体からゴミのポイ捨てや不法投棄を自ら厳しく規制するよう協力を求め、社会的行政的な信用失墜の無いよう警告すること。

- ・環境を汚す資材や原料は極力使用しないよう求め、県や自治体による指導や代替え製品などの研究、製品情報を知らしめること。



...天然の浄化能力は見逃せない...

砂浜は巨大な天然のフィルターである。現在の久慈川河口と共に北側への河口も作り、河口域を広げることが浄化能力を上げる。

また、河口域に繁茂する葦は優れた浄化フィルターである。年に一回野焼きする（鳥や他の生物の重要な住みかのため3月に実施すること）ことでその効果を上げることが出来る。

また、海で捕れるシロウオやチカなど小型の魚類は砂浜や葦の根に産卵し繁殖するため、河口域と葦の繁殖域を増やすことが海の生産力も引き上げる。

川辺のヤナギ落葉は分解し易く水中の昆虫を育て、それが小魚の餌になり、食物連鎖で大きな魚を育てることになる。また、葦の周りの土砂と共に水を浄化し、その効果によるコンブなど海中林の健全性は水中の食物連鎖により海中の魚介類を飛躍的に増やす。

...森林造成と活用の必要性...

雪の多い年は沿岸域の水温が下がり、コンブ発生に役立ち、含まれる窒素分は海中の栄養塩を増やす。

森林の間伐は積雪を2～3割増やし、積雪期間を長くし、地下水と河川の水量を増やすことで川や海に対し良好な環境の効果を現す。

間伐材の燃料化が計られればコンブブロック生産コストやバイオマスエネルギー機器燃料のコストを下げながら、国や県の進めるCO2削減義務の大きなカウントになる。

よって海や川の生産力を上げるためには間伐材や建築廃材を集積選別利用する貯材施設建設を実現させたい。

以上は私どもの大まかな要望概念であります。官民共同の研究と情報交換がより良好な具体策を生むと考えます。行政や企業を司る皆様には、そのお力を最大限発揮され、今後とも活躍あらん事祈念いたし、僭越ながら意見及び要望に変えさせていただきます。

平成 17 年 5 月 謹言